

| | | |
|---|--|------------------|
| 19 番 | 山田 治義 議員 | |
| 項目 | 令和5年度予算大綱について | 項目 令和5年度予算大綱について |
| <p>(要旨)</p> <p>1 経済動向について</p> <p>(1) 市長の2期目の4年間はコロナ禍に翻弄されたと言っても過言ではないと思うが、この間本市の経済動向はどのようであったと認識し、分析しているか伺う。</p> <p>(2) 市税収入は、前年度比5億円強の増加と過去に例を見ない金額が見込まれているが、どのような経済状況を背景に令和5年度予算を編成されたのか伺う。</p> <p>2 骨格予算について</p> <p>(1) 令和5年度予算を骨格予算として編成され、中期事業計画で示された幾つかの施策事業を新しい市長に委ねるとされたが、第6次総合計画を進めるうえで市長自ら計上されるべきでなかったのか見解を伺う。</p> <p>3 伊藤市長2期8年間の市政運営の成果について</p> <p>(1) 第6次総合計画を自ら策定され6年が経過し、一定の成果が出ているとされているが、計画は道半ばであり、その達成度についてはご自身どのように評価されているのか伺う。</p> <p>4 第6次総合計画における将来像の実現及び都市像の達成について</p> <p>令和5年度の予算編成にあたり、都市像ごとの課題や成果をどう分析し予算編成されたのか順に伺う。</p> | <p>(1) 都市像①「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」</p> <p>① 1つ目の政策「地域産業の振興と人材の活躍促進」では、企業誘致の推進や市内企業再投資促進補助金制度等により地域経済への一定の成果があったとされているが、どのように分析評価しているのか伺う。</p> <p>② 企業誘致は、本市の地域経済の活性化はもとより市政発展には欠くことはできない施策であり、今後も積極的に推進すべきと考える。用地等の課題もあるが、推進に向けての考え方について見解を伺う。</p> <p>③ 3つ目の政策「地域経済の活性化につながる地域資源を生かしたシティプロモーションの展開」においても、シティプロモーションの展開による成果があったとされているが、どのように分析評価しているのか伺う。</p> <p>④ シティプロモーションの展開において、ジブリパークとの相乗効果を図るとされているが、会場は他自治体であり効果や成果を求めるのであれば、全施設完成に合わせ本市独自の集客施策の展開や、周辺地域の基盤整備を進める必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>⑤ 4つ目の政策「市民生活の利便性を高め、企業活動の活性化につながる都市基盤の整備」の中で、現在進められている市内幹線道路には触れられているが、瀬戸大府東海線・第3環状線などの重要幹線道路に対する言及はない。第6次総合計画の残された期間の中で、どのような位置づけとして引き継がせようとしているのか伺う。</p> | |

| | | |
|---|---|------------------|
| 19 番 | 山田 治義 議員 | |
| 項目 | 令和5年度予算大綱について | 項目 令和5年度予算大綱について |
| <p>(2) 都市像②「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」</p> <p>① 1つ目の政策「ライフステージに応じた切れ目のない子ども・子育ての支援」では、子ども・若者センターにおいて多くの相談が寄せられているが、相談者への対応や課題解決における相談者の満足度はどのように分析評価しているのか伺う。</p> <p>② 2つ目の政策「瀬戸で学び瀬戸で育ててよかったと思える教育の実現」の中の、小中一貫教育を推進する目的として、学力向上とともに中一ギャップの解消を掲げてきた。児童生徒の学力向上について現状をどのように分析評価しているのか伺う。</p> <p>③ 不登校の児童生徒が増加しているのは大きな課題である。原因分析はされているのか。課題解決についてはどのような対策を考えているのか伺う。</p> <p>④ 3つ目の政策「多世代が子育てに関わることのできるまちづくり」の中の、にじの丘学園の開校をきっかけとした中学校ブロック毎のコミュニティスクールの設置については、地域のコミュニティを考えるうえで小学校ブロックの方が、より効果が上がると考えるが見解を伺う。</p> <p>⑤ にじの丘学園については、学区が広範囲でありこれまでの小学校区間の連携がうまく図られるのか疑問が残るが見解を伺う。</p> | <p>⑥ 4つ目の政策「都市基盤整備による居住環境の魅力向上と未来に向けた良好な環境の継承」の中で、公園施設について以前より市民から公園設置の要望が上がっている。公園については常に需給のバランスが変わることによる管理等の課題もあるが、子育て環境を考える上で必要なツールである。本市の現状をどのように分析評価し、施策展開をしているのか伺う。</p> <p>⑦ 子どもたちが安全・安心に通学できる歩道の整備を行うとされているが、小中学校の立地により市街化調整区域等では通学路の安全性の確保が不十分と考える。今後の対応について見解を伺う</p> <p>⑧ 公共施設整備については予算大綱で触れられていないが、新規事業として旧古瀬戸小学校解体工事をはじめ学校跡地関連の予算が計上されている。前述の旧古瀬戸小学校、祖母懐小学校については利活用に向けて動き出しているが、東明小学校、深川小学校については地域から利活用についての意見書は提案されているものの、市の考え方は示されておらず、早期に市の指針を地域・市民に示すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 都市像③「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」</p> <p>① 安全・安心で誰一人取り残されない優しいまちづくりをはじめとして、高齢者や障害者に関する施策に取り組むものとされているが、真に効果のある障害者施策について、当事者である障害者の方々の意向や思いをどのように施策に反映してきたのか伺う。</p> | |

| 19 番 | 山田 治義 議員 | 項目 令和5年度予算大綱について | 項目 令和5年度予算大綱について |
|--|---|------------------|------------------|
| <p>② 高齢者の介護予防をはじめとして多様な介護サービスを提供していくものとされているが、本市の地域包括システムの構築についてどう評価し、今後の施策展開を図っていくのか伺う。</p> <p>③ 2つ目の政策「高齢者が生きがいを持って活躍し、支えあいにより、安心して暮らせるまちづくり」の中で、高齢者が自家用車に依存しなくても生活ができる環境の整備と、外出機会の創出を目的とした移動手段の運行を行うとされているが、これは公共交通の拡充を意味すると考えてよいのか伺う。</p> <p>④ 公共交通ネットワークの再構築については、山間部など交通不便地域の解消はもとより、高齢化が進む中において交通弱者に対し、さらにきめ細かい対策が必要と考えるが、現状をどのように分析評価し施策展開を図っていくのか伺う。</p> <p>⑤ 4つ目の政策「地域の生活環境の向上と安全・安心な地域づくり」の中で、プラスチックごみや資源ごみの分別収集や有料化を実施するにあたり、本市の将来にどのような効果をもたらしていくと捉えているのか長期的ビジョンを示すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>⑥ プラスチックごみの分別収集や資源ごみの収集について、市民から寄せられている多くの意見や要望をどのように受けとめ、施策展開をしようとしているのか見解を伺う。</p> | <p>⑦ 5つ目の政策「誰もが生涯にわたって学び、郷土に対する誇りと愛着を深める豊かな地域づくり」では、新規事業として市史の編さんが事業化されているが、従来からの文化事業とどう関連性を持たせ市民の文化意識やシビックプライドの醸成に繋げていくのか見解を伺う。</p> <p>5 財政運営について</p> <p>(1) 公共施設等総合管理計画のもと公共施設の建て替えや改修事業が進められているが、大きな予算をとまなうもので財政運営については大胆かつ慎重な舵取りが求められる。今後の財政見通しについてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 市長は以前に民間の資金やノウハウを活用してコストの削減を進めるとされてきた。PFI・PPP手法の導入も視野に入れていくとのことであったが、事業展開していく中で、現状においてこれらの手法についてどのような成果や効果があったのか伺う。</p> <p>6 人事管理について</p> <p>(1) 今後10年間で職員の定年が5年延長となるが、これまでの再任用制度での対応からの変更で、人件費の増加が懸念される。行政コストへの影響を勘案しながらの行政運営が必要であるが、今後の人事管理と人件費の動向についてどのように考えているのか見解を伺う。</p> <p>7 8年間で振り返って</p> <p>(1) これまで職員には意識改革を求めてこられたが勇退にあたり、8年間市長を支えた職員にどのような思いを抱き、今後何を期待しているのか。また、次の新しい市長には何を期待されるのか伺う。</p> | | |